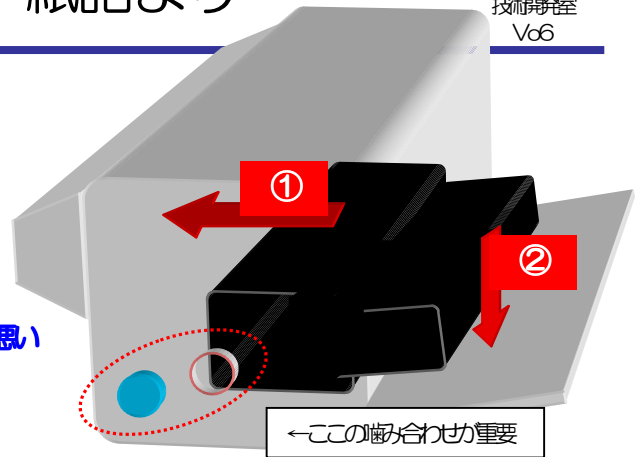


主な異音の申告症状の擬音

◆異音が出て検品結果が「異常なし」の場合◆

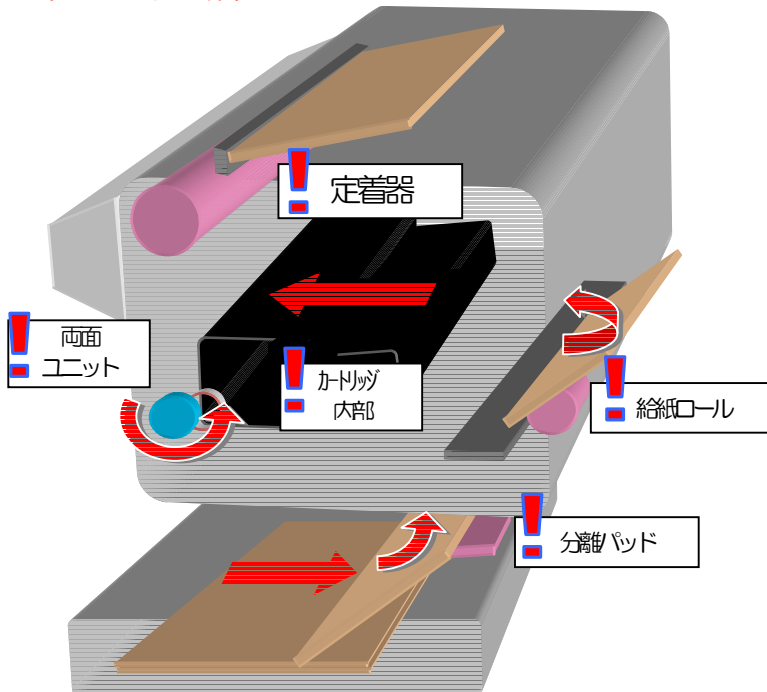
ケース1：トナー内部陪材の破損や回転不良
(キュルキュル) ⇒周期的な音鳴り

ケース2：プリンタギアとカートリッジギアの噛み合わせが悪い
(ガタガタ) (ギー) ⇒ギア駆動音



ケース1の場合はトナーを交換するしか無い場合が多いですが、ケース2の場合はセット不良の可能性が有ります。左上の図のように①奥までカートリッジを入れ、②プリンタギアとカートリッジギアを接地するようカートリッジの房部を軽く下方に押し付けます。プリンタ側の磨耗によっては①の奥に入れるだけではセット不良により異音を起こすケースがあります。

紙詰まり箇所のチェックポイント



! 定着器周辺で紙詰まり

定着器が劣化している可能性があります。

! 両面ユニットで紙詰まり

両面ユニットが付属している場合本体への接触が甘いと紙詰まりが発生します。また両面印刷は紙がカールするので紙詰まりし易いです。

! 給紙ロール・分離パッドで紙詰まり

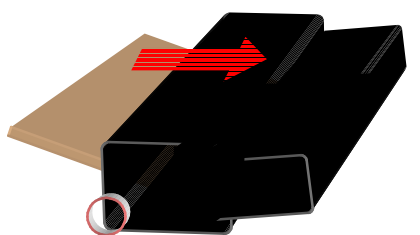
用紙の引き上げ時に紙詰まりが発生する場合があります。硬く絞った拭きで清掃すると改善する場合があります。また表面が磨耗して交換しないと改善しない場合があります。尚、給紙ロールはメンテナンスキットに付属されユーザー側で交換することが出来ます。

! 連続して印刷している時の紙詰まり

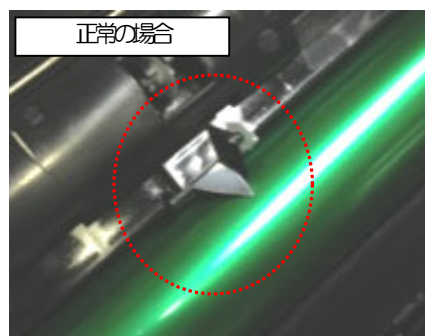
連続でプリントをするとプリンタ側用紙搬送経路が熱でコンマ数ミリ単位でたわみます。この場合も紙詰まりが発生し易くなります。プリンタをクールダウンさせると改善する場合があります。

カートリッジ内部での紙詰まり

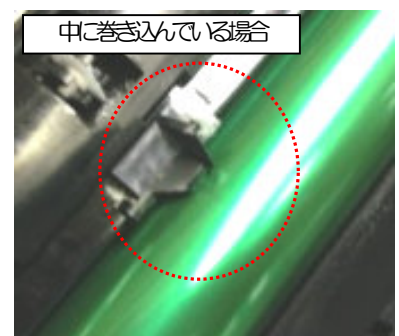
紙詰まりをした際にカートリッジを引き抜いて一緒に用紙が出てきた場合はカートリッジ要因です。連続紙詰まりが発生する場合はドラムに接触している三角の爪が中に入り込んでしまっている事があります。このままだと紙詰まりの他、ドラム傷の原因となる事があります。



カートリッジを抜く際に用紙と一緒に出た場合はカートリッジ要因です。電音などで駆動可能な場合は可いましょう。



正常の場合



中へ巻き込んでいる場合

爪の中に入り込んでいる場合はドラムに傷を付けないよう注意しながらクリップで引っ掛けて爪を外へ出して下さい。